

平成30年 7月17日

報道機関 各位

研究設備のスーパーユーザー養成
富山大学設備サポートマネジメントオフィス
低真空電子顕微鏡のスーパーユーザー認定式

富山大学では、平成30年4月より「設備サポートセンター整備事業」の活動をスタートし、学内分析装置の共用化・最大活用化を推進しています。その一環で学内の学生を第一弾として、低真空電子顕微鏡を対象としてスーパーユーザーの養成を行い このたび理学部・工学部の学生6名が修了・認定される予定です。

認定式を経て、今後 装置を活用して更に高度な研究に役立てるとともに他の装置使用者のサポートにも活躍することが期待されます。

【スーパーユーザーとは…】

分析装置等を単に使用して測定するユーザーではなく、測定原理や解析など装置に関する幅広い知識を有し、装置維持のためのメンテナンスも可能な使用者をスーパーユーザーとして育成しています。毎年、対象装置を選定し 学内学生や学外の地元企業の技術者を候補者として育成プログラムを実施していく予定です。

〈日時・場所〉

開催日時：平成30年8月2日(木) 16:30 - 17:00

開催場所：富山大学五福キャンパス工学部大会議室

〈内容〉

低真空装置スーパーユーザー認定式および記念撮影



【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 研究推進総合支援センター 設備サポート・マネジメントオフィス
TEL : 076-445-6713 (根角・佐藤) MAIL : setubi@ctg.u-toyama.ac.jp